

平成30年度 第1回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

- 1 開 会
- 2 任命状交付
- 3 館長あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 事務局職員等紹介
- 6 議 事
 - (1) 平成29年度 考古博物館事業実績について
 - (2) 平成30年度 考古博物館経過・予定事業について
 - (3) 考古博物館利用状況について
 - (4) 委員提言に対する対応・検討状況について
 - (5) その他
- 7 その他
- 8 閉 会

平成30年7月11日(水)

山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター

資 料 目 次

◇ 平成29年度 考古博物館事業実績について	
1 展示活動	1
2 学習会・講座など	3
3 イベント	6
4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ.....	8
5 古代衣装貸し出し.....	8
6 ボランティアガイドの実施	8
◇ 平成30年度 考古博物館経過・予定事業について	
1 展示活動	10
2 学習会・講座など	11
3 イベント	14
4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ.....	15
5 古代衣装貸し出し.....	15
6 ボランティアガイドの実施	15
◇ 考古博物館の利用状況について	
(1) 観覧者数（常設展・特別展）	17
(2) 特別展観覧者数	18
(3) 学校関係利用状況	19
(4) 総利用者数	20
◇ 委員提言に対する対応・検討状況について	21
◇ 山梨県考古博物館協議会委員名簿	22
◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	23

◇ 平成29年度考古博物館事業実績について

1 展示活動

(1) 第35回特別展

テーマ：『ひつぎのヒミツ—棺から読み解く古墳時代—』

会期：10月4日(水)～11月23日(木・祝) 開催日数：46日

会場：山梨県立考古博物館

入館者：6,067人

概要：古墳に埋納された「棺(ひつぎ)」をテーマに、山梨と各地の出土品を比較展示しながら、古墳時代の葬制と他界観について考える機会として開催しました。展示では、多様な棺が埋納された背景について、各地の古墳で発掘された現存する木棺・石棺・陶棺などを様々な副葬品とともに紹介しながら、この時代の人々の死生観・来世観の変遷を垣間見ることができました。会期中には記念講演会も開催しました。

(2) 企画展

① 春季企画展『甲府城下町の賑わい』

会期：4月22日(土)～6月11日(日) 開催日数：45日

会場：考古博物館多目的室

入館者：6,453人

概要：甲府城を中心とした武家屋敷地などを含む甲府城下町遺跡は、これまで甲府城跡と合わせて70ヶ所以上の地点で発掘調査が行われており、絵図の調査などと併せて、当時の様相が明らかにされつつあります。また、近年では金の精製錬に伴う鍛冶遺構の発見など、新発見資料も報告されています。展示では、近年の調査資料を中心に、近世甲府の賑わいの歴史を紹介しました。

② 夏季企画展『考古博の土偶—縄文王国の土偶大集合—』

会期：7月15日(土)～8月27日(日) 開催日数：38日

会場：考古博物館多目的室

入館者：4,704人

概要：考古博物館が所蔵する土偶約500点を一堂に展示しました。一の沢遺跡や酒呑場遺跡(重要文化財)をはじめ、山梨を代表する土偶を展示することにより、土偶の変遷を紹介するとともに、縄文時代の信仰について紹介しました。また、夏休み期間中の開催であることから、会期中は小・中学生を対象に土偶作りやクイズラリー、土偶のイラストを描くなどのイベントを開催しました。

③ 冬季企画展『甲斐市の出土品Ⅱ—双葉・竜王の遺跡—』

会期：12月9日(土)～1月28日(日) 開催日数：36日

会場：考古博物館多目的室

入館者：1,184人

概要：普段あまり見ることができない県内市町村教育委員会が所蔵する出土品を展示紹介しながら、身近にある遺跡や地域の歴史に親しんでもらう機会と

して開催しました。今回は、28年度の旧敷島町エリアに引き続き、旧竜王町・双葉町エリアの発掘調査の成果を紹介しました。

④ 新年干支展『戌』

会 期：1月2日（火）～1月28日（日）

開催日数：19日

会 場：考古博物館エントランスホール

入館者：605人

概 要：干支にまつわる考古資料を紹介するミニ展示です。平成30年は「戌（いぬ）」で、江戸時代から近代にかけて作られた磁器や玩具などを展示しました。

⑤ 『第15回わたしたちの研究室・研究成果展示会』

開催日数：20日

会 期：2月10日（土）～3月4日（日）

会 場：考古博物館多目的室

入館者：1,023人

概 要：県内の小・中学生のみなさんが考古学や歴史を学ぶ楽しさを知る機会とするために、その研究成果を募集・表彰し、ご応募いただいた作品すべてを展示・公開していく事業で、平成15年度より実施しています。

⑥ 『富士山の日ミニ展示』

会 期：2月10日（土）～2月28日（火）

開催日数：16日

会 場：考古博物館エントランスホール

入館者：487人

概 要：県条例で制定された「富士山の日」（2月23日）の関連イベントとして実施しているミニ展示です。27年度の縄文時代、28年度の弥生時代に引き続き、29年度は富士山と古墳時代の遺跡との関わりについて、近年富士山周辺地域で発掘された成果を中心に出土品を紹介しました。会期中には、富士山の発掘調査で出土した銭で拓本をとるイベントも開催しました。

⑦ 『風土記の丘望見展』

会 期：3月3日（火）～4月8日（日）

開催日数：33日

会 場：風土記の丘研修センター・エントランスホール

入館者：659人

概 要：考古博物館の体験研修施設（附属施設）である風土記の丘研修センターで開催している企画展です。29年度は「風土記の丘整備のあゆみ」をテーマに、曾根丘陵公園開園30周年を記念し、整備の過程を当時の資料や出土品とともに振り返りました。会期中には、新たにデザインされたキャラクターの愛称を募集しました。

⑧ 『山梨の遺跡発掘展2018』

会 期：3月10日（土）～4月8日（日）

開催日数：25日

会 場：考古博物館多目的室

主 催：山梨県埋蔵文化財センター

入館者：1,008人

概 要：埋蔵文化財センターによる年度ごとの発掘調査の速報展示です。

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

29年度は「石の文化史」をテーマに開催しました。「石」は、人類にとって身近な素材として、旧石器時代から現代に至るまで、道具・建築用材・儀礼・宗教など、幅広く活用され、バリエーションに富んだ文化を現在に伝えています。最新の考古学成果をもとに、山梨の石文化について講演いただきました。

- 第1回 6月 3日(土) 「石材の獲得・流通・使用
—旧石器・縄文の生活と石—
講師：山梨県埋蔵文化財センター 柴田 亮平 氏 受講者：48人
- 第2回 6月24日(土) 「配石遺構と石棒—縄文時代の信仰と石—
講師：北杜市教育委員会 村松 佳幸 氏 受講者：65人
- 第3回 7月15日(土) 「山梨の石室と積石塚」
講師：山梨県埋蔵文化財センター 熊谷 晋祐 氏 受講者：45人
- 第4回 8月 5日(土) 「自慢の石積み技術」
講師：山梨県教育庁学術文化財課 久保田 健太郎 氏
受講者：50人

(2) 館長講座

萩原三雄館長による「考古学研究の最前線」をテーマとする講演会。日本城郭史や日本鋳山史などを専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説する講座です。29年度は「戦国大名武田氏の考古学」をテーマに6回開催されました。

- 第1回 4月22日(土) 「武田信玄と創作された史跡」
受講者：58人
- 第2回 6月17日(土) 「新府城炎上と武田勝頼」
受講者：132人
- 第3回 8月12日(土) 「景德院武田勝頼の墓所の発掘」
受講者：80人
- 第4回 10月14日(土) 「躑躅ヶ崎館(武田氏館)の天守台の謎」
受講者：85人
- 第5回 12月16日(土) 「武田氏を支えた土豪たちの世界」
受講者：71人
- 第6回 2月24日(土) 「武田氏と金山衆」
受講者：82人

(3) 縄文問答「なるほど！考古博」

28年度から開催のミニ講座です。考古博物館のエントランスや展示室で講師が実際に出土品を見せながら解説し、縄文時代のさまざまな疑問に答えていただきました。

- 第1回 5月21日(日) 「探してみよう！！縄文土器の中のタネとムシ」
講師：山梨県埋蔵文化財センター 中山 誠二 氏 受講者：13人

- 第2回 7月9日(日)「縄文土器っていいね！」
 講師：考古博物館 野代 幸和 氏 受講者：33人
- 第3回 9月3日(日)「縄文土器文様の話2」
 講師：山梨県埋蔵文化財センター 今福 利恵 氏 受講者：19人

(4) 特別展記念講演会

第35回特別展『ひつぎのヒミツ—棺から読み解く古墳時代—』の開催を記念して、講演いただきました。

- 第1回 10月21日(日)「古墳時代の木棺」
 講師：奈良県教育委員会文化財保存課 岡林 孝作 氏 受講者：35人
- 第2回 11月 5日(日)「東日本の古墳と石棺・陶棺」
 講師：東北大学埋蔵文化財調査室 石橋 宏 氏 受講者：45人
- 第3回 11月19日(日)「棺から読み解く古墳時代」
 講師：兵庫県立考古博物館 和田 晴吾 氏 受講者：63人

(5) 冬季企画展関連講座

「甲斐市の出土品Ⅱ」の開催期間中、昨年度に引き続き甲斐市教育委員会職員に展示解説していただきました。

期 日：1月6日(土)
 会 場：考古博物館多目的室
 講 師：甲斐市教育委員会 大寫 正之 氏
 参加者：41人

(6) 縄文王国山梨「縄文座談会」

今年度は、最新の発掘成果をもとに、専門家による縄文トークを楽しんでいただきながら、縄文時代への理解を深める機会として開催しました。

- 第1回 会 場：韮崎市民俗資料館
 目 時：7月23日(日)
 講 師：櫛原 功一 氏
 「発掘でわかった土器づくり」 受講者：22人
- 第2回 会 場：南アルプス市ふるさと文化伝承館
 日 時：7月29日(土)
 講 師：中山 誠二 氏
 「えっ～お汁粉を食べてた縄文人?!」 受講者：20人
- 第3回 会 場：釈迦堂遺跡博物館
 日 時：9月9日(土)
 講 師：小野 正文 氏
 「縄文時代の始まりと終わり」 受講者：22人

(7) ものづくり教室～チャレンジ博物館～(風土記の丘研修センター)

小中学生親子を対象に、学校の休業日である日曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさとももの作り出すよろこびを経験できる企画。

- 第1回 4月16日(日) 「豪族勾玉づくり・
古代衣装で豪族なりきり体験にチャレンジ」
参加者：44人
- 第2回 5月21日(日) 「江戸時代の古銭づくりにチャレンジ」
参加者：42人
- 第3回 6月11日(日) 「縄文時代のかごづくりにチャレンジ」
参加者：23人
- 第4回 7月30日(日) 「弥生時代の銅剣形ペーパーナイフ
づくりにチャレンジ」
参加者：30人
- 第5回 8月13日(日) 「縄文時代の石製耳飾りづくりにチャレンジ」
参加者：27人
- 第6回 9月10日(日) 「はにわづくりにチャレンジ」
参加者：33人
- 第7回 10月 8日(日)・9日(月) 「石包丁づくり・
古代衣装で収穫体験」
参加者：69人
- 第8回 11月 5日(日) 「須恵器づくりにチャレンジ」
参加者：27人
- 第9回 12月 3日(日) 「干支の土鈴づくりにチャレンジ」
参加者：43人
- 第10回 1月14日(日)・21日(日)・2月4日(日)
「縄文土器づくりにチャレンジ」
参加者：71人
- 第11回 2月18日(日) 「私の火起こし機づくり・
火起こし体験にチャレンジ」
参加者：16人
- 第12回 3月18日(日) 「縄文土偶づくりにチャレンジ」
参加者：25人

(8) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～(風土記の丘研修センター)
高校生以上の一般を対象に、原始古代のすぐれた工芸技術を体験学習する企画。

- 第1回 4月1日(土)・2日(日) 「石膏で青銅鏡作り体験」
参加者：29人
- 第2回 5月13日(土) 「琥珀の勾玉作り体験」
参加者：9人
- 第3回 5月20日(土)・6月3日(土) 「陶器作り体験」
参加者：21人
- 第4回 7月9日(日)・22日(土) 「青銅器・銅鐸作り体験」
参加者：9人
- 第5回 8月6日(土)・19日(土) 「トンボ玉作り体験」
参加者：20人
- 第6回 9月3日(日)・23日(土) 「環頭大刀飾りキーホルダー作り体験」
参加者：9人
- 第7回 10月29日(日)・11月4日(土) 「須恵器作り教室」

- 参加者：34人
 第8回 12月10日(日)・16日(土) 「青銅鏡形チョコレート作り」
- 参加者：41人
 第9回 1月13日(土)・20日(土)・2月4日(日) 「縄文土器作り体験」
- 参加者：54人
 第10回 2月3日(土)・11日(日) 「青銅鏡形チョコレート作り」
- 参加者：63人
 第11回 3月3日(土) 「草木染め体験」
- 参加者：12人
 第12回 3月11日(日) 「土偶・古墳形クッキー作り体験」
- 参加者：13人

(9) 史跡文化財セミナー

一般の方を対象として、山梨県内の史跡文化財を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深めました。

- 第70回 5月14日(日) 「塩山下小田原上条集落を歩く」
 参加者：33人
- 第71回 7月30日(日) 「芦川の里を歩く」
 参加者：32人
- 第72回 3月11日(日) 「大善寺周辺と勝沼宿を歩く」
 参加者：30人

3 イベント

(1) こどもまつり For 考古博物館 (公園管理者と共催)

5月3日(水)・4日(木) 考古博物館と周辺エリア

参加者：3,649人

火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催していますが、29年度は改修工事中だったため、考古博物館を中心に開催しました。

(2) 秋のふれあい・第29回風土記の丘こどもまつり (公園管理者と共催)

10月15日(日) 風土記の丘研修センターと周辺エリア

参加者：596人

毎年秋に開催している「秋のふれあいまつり」と「風土記の丘こどもまつり」を合わせて開催しました。

(3) 考古博エントランスホールでのイベント

① 4月30日(日) 『甲府城の瓦で拓本しおりを作ろう』

参加者：27人

② 11月12日(日) 『風土記の丘探検隊』

参加者：21人

③ 11月20日(月) 『県民の日イベント』

参加者：1,497人

④ 1月3日(水) 『お正月イベント』

- 参加者：150人
- ⑤ 2月25日(日) 『富士山の日関連イベント』
- 参加者：23人
- ⑥ 3月4日(日) 『考古博物館 de 春まつり』
- 参加者：374人

(4) 風土記の丘研修センターでのイベント

- ① 6月17日(土) 『古代米を植えよう』 (公園管理者と共催)
- 参加者：20人
- ② 6月24日(土)～8月27日(日) 『風土記の丘で七夕飾り』
(公園管理者と共催)
- ③ 6月25日(日) 『山梨の七夕人形をつくろう』
- 参加者：27人
- ④ 9月2日(土) 『方形周溝墓で星を見る会』 (公園管理者と共催)
- 参加者：44人
- ⑤ 10月9日(月) 『黒米稲刈り体験』 (公園管理者と共催)
- 参加者：22人
- ⑥ 11月23日(水・祝) 『落ち葉で焼きいも!』 (公園管理者と共催)
- 参加者：482人
- ⑦ 1月14日(日) 『古代米でもちつき』 (公園管理者と共催)
- 参加者：700人

(5) 夏休みスタンプラリー

7月15日(土)～8月27日(日) 入館者：1,413人
スタンプブックを持った入館者で希望者が縄文土器の拓本体験などをする夏休み企画

- ① 『青銅鏡をつくろう!』
- 参加者：12人
- ② 『トンボ玉をつくろう!』
- 参加者：32人
- ③ 『勾玉・大珠をつくろう!』
- 参加者：150人
- ④ 『プラバン・ストラップをつくろう!』
- 参加者：158人
- ⑤ 『イロイロ!?土偶づくり』
- 参加者：95人
- ⑥ 『ミニミニ☆発掘体験!』
- 参加者：38人
- ⑦ 『古銭をつくろう!』
- 参加者：60人

(6) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

県立博物館の呼びかけによる事業への参加。

7月17日(月) アイメッセ山梨(甲府市) 参加者：130人

(7) 第15回わたしたちの研究室表彰式・研究発表会

2月10日(土) 考古博物館エントランスホール 参加者：73人

(8) 縄文王国山梨

「Jomon FES 2017～山梨縄文まつり～」

日時：10月21日（日） 11:00～17:00

会場：甲府駅北口よっちやばれ広場

内容：山梨の優れた縄文文化を広く発信すべく開催したイベント。29年度も狩猟体験、火起こしなどの体験メニューのほか、縄文芸術の高さと見どころを語るトークショーや古代音楽を再現したライブステージなどが行われました。

参加者：約1,587人

(9) 原始・古代の技術体験学習（風土記の丘研修センター）

- | | |
|-------------------|------------|
| ① 火起こし体験 | 参加者：5,705人 |
| ② 勾玉作り | 参加者：2,716人 |
| ③ トンボ玉作り | 参加者：43人 |
| ④ 青銅鏡作り | 参加者：49人 |
| ⑤ その他（土鈴・石包丁作りほか） | 参加者：198人 |

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験（7校・19名）、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習は4名を受け入れました。

学芸員実習	8月1日～11日	明治大学	1人
		川村学園女子大学	1人
		大正大学	1人
		駒澤大学	1人

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントに活用しました。

5月9日（月）～6月1日（土）	あけぼの支援学校
2月3日（土）～2月9日（日）	わかば支援学校

合計：2件

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修を受けていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。総勢15名で活動しました。

4月 2日間（延べ 4人；開館日数26日）
5月 14日間（延べ18人；開館日数27日）
6月 3日間（延べ 6人；開館日数26日）
7月 13日間（延べ11人；開館日数26日）

8月19日間 (延べ14人; 開館日数28日)
9月 8日間 (延べ 8人; 開館日数21日)
10月16日間 (延べ18人; 開館日数25日)
11月13日間 (延べ17人; 開館日数22日)
12月 1日間 (延べ 1人; 開館日数22日)
1月以降は無し

◇ 平成30年度考古博物館経過・予定事業について

1 展示活動

(1) 開館35周年記念特別展『古代アンデス文明展』

会 期：5月19日(土)～7月16日(月・祝) 開催日数51日

会 場：山梨県立考古博物館

概 要：「黄金の都シカン発掘展」、「世界遺産ナスカ展」、「インカ帝国展」など、国立科学博物館とTBSテレビが20年以上にわたって行ってきた「アンデスプロジェクト」の集大成として開催しています。古代アンデス文明を代表する9つの文化を取り上げ、アンデス文明が長い年月の間にどのように発達し、何を成し遂げ、どのような遺産を後世に残したのかについて、考古学、人類学それぞれの視点から紹介し、考古博物館開館35周年を記念して、海外の優れた考古資料についての学習の機会を提供しています。

(2) 企画展

① ゴールデンウィークミニ展示『繁栄を迎えた酒呑場遺跡』

会 期：4月21日(土)～5月6日(日)

開催日数15日

会 場：考古博物館多目的室

入館者：2,209人

概 要：国指定重要文化財「酒呑場遺跡出土品」の保存修理事業により、当時の姿を取り戻した造形美豊かな美しい土器などを紹介しました。

② 夏季企画展『願いをかなえてほとけさま一甲斐の古代寺院一』

会 期：7月28日(土)～9月2日(日)

開催日数33日

会 場：考古博物館多目的室

概 要：古代甲斐における仏教の導入と展開について紹介します。新しい信仰体系がどのように受容され、古墳時代から奈良・平安時代にかけてどのように浸透していったかを考古資料から紹介し、現代に与えた影響について理解を深める機会とします。夏休み期間中の開催であることから、会期中は小・中学生を対象にスタンプラリーイベントを開催し、ワークショップなどを予定しています。

③ 秋季企画展「水煙文土器の世界」

会 期：10月6日(土)～11月25日(日)

開催日数44日

会 場：考古博物館多目的室

概 要：渦巻く水煙を思わせる文様が特長である水煙文土器は、国宝の火焰型土器にも劣らぬ躍動感と高い芸術性を秘めた造形美を持ち、山梨でも屈指の縄文土器のひとつです。展示では、県内で出土した水煙文土器を一堂に集め、縄文人の優れた感性と技術を紹介します。

④ 冬季企画展「山梨市の出土品Ⅰ」

会 期：12月15日(土)～1月27日(日)

開催日数31日

会 場：考古博物館多目的室

概 要：自治体に専門の施設を持たない地域の出土品を紹介する冬の企画展です。

28・29年度年度の甲斐市に次いで、今回は山梨市の遺跡を紹介します。

- ⑤ 新年干支展『亥』
会期：1月2日(水)～平成30年1月27日(日) 開催日数19日
会場：考古博物館エントランスホール
- ⑥ 『第16回わたしたちの研究室・研究成果展示会』
会期：2月9日(土)～3月3日(日) 開催日数20日
会場：考古博物館多目的室
- ⑦ 『富士山の日ミニ展示』
会期：2月9日(土)～2月28日(火) 開催日数17日
会場：考古博物館エントランスホール
- ⑧ 『風土記の丘望見展』
会期：3月2日(土)～4月7日(日) 開催日数：33日
会場：風土記の丘研修センター・エントランスホール
- ⑨ 『山梨の遺跡発掘展2019』
会期：3月9日(土)～4月7日(日) 開催日数：27日
会場：考古博物館多目的室
主催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は「倭国大乱期の甲府盆地」をテーマに開催します。弥生時代後期の2世紀後半に起こった、中国の歴史書にも記述がみられる争乱について、最新の考古学成果をもとに解説いただきながら、山梨の弥生・古墳時代について考えます。

- 第1回 8月 4日(土) 「甲府盆地の周溝墓」
講師：考古博物館 一之瀬 敬一
- 第2回 8月18日(土) 「土器から見る地域間交流とその諸相」
講師：大月市教育委員会 稲垣 自由 氏
- 第3回 9月 1日(土) 「青いガラスと甲府盆地」
講師：山梨県立博物館 西願 麻衣 氏
- 第4回 9月22日(土) 「(総論) 倭国大乱期の中部高地」
講師：東海大学文学部教授 北條 芳隆 氏

(2) 館長講座

萩原三雄館長による「考古学研究の最前線」をテーマとする講演会。日本城郭史や日本鉱山史などを専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説する講座です。今年度は「甲府城の考古学」をテーマに6回開催します。

- 第1回 4月21日(土) 「甲府城と倭城と織豊城郭」

受講者：54人

第2回 6月9日(土) 「甲府城の築城者をめぐる謎」

受講者：67人

第3回 8月25日(土) 「天守台と櫓台

—甲府城・都留勝山城・躑躅ヶ崎館—

第4回 10月13日(土) 「高石垣と金箔瓦と天守、そして徳川家康包囲網」

第5回 12月15日(土) 「甲府城の天守の謎に迫る」

第6回 2月16日(土) 「戦国甲府城下町と近世甲府城下町」

(3) 縄文問答「なるほど！考古博」

28年度から開催のミニ講座です。今回は秋季企画展の開催に合わせて、考古博物館のエントランスや展示室で講師が実際に出土品を見せながら解説し、縄文時代のさまざまな疑問に答えていただきます。

11月18日(日) 「水煙文土器の世界」

講師：山梨県埋蔵文化財センター 今福 利恵 氏

(4) 特別展記念講演会

特別展『古代アンデス文明展』の開催を記念して、講演いただきました。

6月10日(日)

「アンデスのミイラーその誕生から消滅まで」

講師：国立科学博物館副館長兼人類研究部長 篠田 謙一 氏

「インカ帝国はなぜ滅びたか」

講師：東京大学大学院総合文化研究科教授 網野 徹哉 氏

受講者：114人

(5) ものづくり教室～チャレンジ博物館～（風土記の丘研修センター）

小中学生親子を対象に、学校の休業日である日曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさとももの作り出すよろこびを経験できる企画。

第1回 4月22日(日) 「ゴージャス勾玉づくり・古代衣装着用体験」

参加者：38人

第2回 6月17日(日) 「アンデスの染め物にチャレンジ」(特別展連携)

参加者：28人

第3回 7月8日(日)・15日(日)

「アンデスの絵皿づくりにチャレンジ」

(特別展連携)

第4回 8月5日(日) 「ミニミニ青銅鏡づくり～古代の輝き体験～」

第5回 8月19日(日) 「石膏で青銅鏡づくり～本物そっくり体験～」

第6回 9月 2日(日) 「縄文時代の石製耳飾りペンダントづくりにチャレンジ」

第7回 9月30日(日)・10月21日(日)
「石包丁づくりにチャレンジ、
収穫・古代衣装着用体験」

第8回 11月18日(日) 「縄文ポシェットづくりにチャレンジ」

第9回 12月 2日(日) 「干支の土鈴づくりにチャレンジ」

第10回 1月13日(日)・20日(日)・2月3日(日)
「縄文土器づくりにチャレンジ」

第11回 2月17日(日) 「弥生時代の土笛づくりにチャレンジ」

第12回 3月17日(日) 「縄文土偶づくりにチャレンジ」

(6) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～ (風土記の丘研修センター)

高校生以上の一般を対象に、原始古代のすぐれた工芸技術を体験学習する企画。

第1回 4月21日(土) 「けつ状耳飾りペンダント作り体験」
参加者: 9人

第2回 6月 2日(土) 「陶器作り体験」
参加者: 5人

第3回 6月10日(日) 「アンデスのコチニール染め体験」(特別展連携)
参加者: 14人

第4回 7月 1日(日)・7日(土) 「アンデスの絵皿を作ろう」
(特別展連携)

第5回 8月 4日(土) 「青銅器・銅剣形ペーパーナイフ作り体験」

第6回 9月 9日(日) 「和鏡作り体験」

第7回 10月20日(土) 「石膏で大型青銅鏡作り体験」

第8回 10月28日(日) 「土器ドキクッキー作り体験」

第9回 11月 4日(日) 「陶器作り体験」

第10回 12月9日(日)・16日(日) 「トンボ玉作り体験」

第11回 1月12日(土)・19日(土)・2月3日(日) 「縄文土器作り体験」

第12回 2月 9日(土)・10日(日) 「青銅鏡形チョコレート作り体験」

第13回 3月 2日(土) 「ガラス製勾玉ペンダント作り体験」

第14回 3月10日(日) 「土偶・古墳形クッキー作り体験」

(7) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深めます。

第73回 9月9日(日) 「国史跡・梅之木遺跡と周辺を歩く」

第74回 11月4日(日) 「七里岩を歩訪ねる」

第75回 3月10日(日) 「甲府城下町を歩く」

3 イベント

(1) 第30回風土記の丘こどもまつり(公園管理者と共催)

5月3日(水)・4日(木) 風土記の丘研修センターと周辺エリア

参加者：4,027人

火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しています。

(2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント

① 5月26日(土)・7月8日(日) 『アルパカ記念撮影会』(特別展連携)

参加者：1,057人

② 11月20日(月) 『県民の日イベント』

③ 1月3日(水) 『お正月イベント』

④ 2月23日(土) 『富士山の日関連イベント』

⑤ 3月3日(日) 『考古博物館 de 春まつり』

(3) 風土記の丘研修センターでのイベント

① 6月16日(土)～8月19日(日) 『風土記の丘で七夕飾り』

(公園管理者と共催)

② 6月23日(日) 『七夕人形作り』 参加者：27人

③ 未定 『方形周溝墓で星を見る会』(公園管理者と共催)

④ 10月14日(日) 『秋のふれあいまつり』(公園管理者と共催)

⑤ 11月23日(金・祝) 『落ち葉で焼きいも』(公園管理者と共催)

⑥ 1月14日(月・祝) 『古代米でもちつき』(公園管理者と共催)

(4) 夏休みスタンプラリー

7月24日(土)～8月26日(日)

スタンプブックを持った入館者で希望者がアクセサリ作り体験などをする夏休みの企画です。

① 『とんぼ玉をつくろう!』

② 『勾玉・大珠をつくろう!』

③ 『プラバン de 瓦バッジをつくろう!』

- ④ 『ミニミニ青銅鏡をつくろう!』
- ⑤ 『なぞとき考古博～夏休みスペシャル～』
- ⑥ 『ミニミニ☆発掘パズル』

- (5) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加
 県立博物館の呼びかけによる事業への参加。
 7月16日(月・祝) アイメッセ山梨(甲府市)

- (6) 第16回わたしたちの研究室表彰式・発表会
 2月9日(土) 考古博物館エントランスホール

- (7) 縄文王国山梨
 「Jomon FES 2018～縄文まつり～」
 日時: 11月10日(土) 11:00～17:00
 会場: 甲府駅北口よっちゃばれ広場

- (8) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業)
 (5月末現在)
- | | |
|---------|-------------|
| ①火起こし体験 | 参加者: 1,664人 |
| ②勾玉作り | 参加者: 714人 |

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験を受け入れ予定。大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習は2名を受け入れ、8月1日～8月11日に実施予定。

学芸員実習	8月1日～11日	山梨大学	1人
		東京女子大学	1人

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントでの活用を進めています。

5月12日(土)～5月24日(木)	やまびこ支援学校
6月16日(土)～6月30日(土)	あけぼの支援学校

合計: 2件

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修を受けていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。総勢16名で活動中。

4月	6日間(延べ11名; 開館日数26日)	
5月	9日間(延べ12名; 開館日数26日)	(5月末現在)

◇ 考古博物館利用状況について

次の4項目については、次ページ以降をご覧ください。

- (1) 総入館者数
- (2) 特別展入館者数
- (3) 学校関係利用状況
- (4) 考古博物館総利用者数

特別展観覧者数

平成30年6月末日現在 (単位:人)

年度	個 人		団 体		観覧制度(小・高)		前売券	旅行会社 クーポン	年間パス ポート	高齢者 身障者	土曜日 (小・中・高)	教育課程	招待者	計	1日 平均	回	内 容
	大学・一級 小・中・高	大学・一級 小・中・高	大学・一級 小・中・高	大学・一級 小・中・高	大学・一級 小・中・高	大学・一級 小・中・高											
58	2,807	723	1,405	215								1,800	1,445	8,395	183	1	土偶
59	1,840	308	926	26								1,194	945	5,239	150	2	縄文時代の酒造具
60	3,362	161	832	36								785	839	4,015	109	3	山梨の中世陶磁
61	3,232	520	1,065	8								2,585	2,604	10,074	179	4	古代甲斐国と藤内王権
62	1,461	274	317	28								571	866	3,517	121	5	古代官道と甲斐の文化
63	1,924	242	359	24								1,008	1,566	5,123	183	6	古代の装身具
1	1,098	264	616	316								2,522	809	5,625	181	7	一粒の穀展
2	1,503	242	448	81								3,549	774	6,597	183	8	古墳時代が聞こえる
3	1,100	199	350	3								3,318	819	5,789	161	9	縄文土器その心象世界
4	2,263	344	414	115								1,903	1,135	6,174	172	10	天下人の時代
5	840	101	231									2,446	973	4,591	131	11	山梨の経緯
6	2,414	534	96									1,947	1,295	6,286	175	12	古墳時代の甲冑
7	55,623	9,554	1,943	576						10,045	3,765	4,273	4,303	90,082	2,047	13	黄金の都シカンの発掘展
8	7,999	1,432	259	219						982	608	2,140	420	14,059	439	-	ネアンデルタール人の復活展
9	1,268	178	92							583	125		2,178	4,424	233	14	新発見者古運朝展
10	1,683	167	189							587	62	737	1,770	5,195	157	15	韓国・忠清北道の古代文化展
11	5,173	883	151	458						1,711	208	1,948	2,633	13,165	299	16	遙かなるエジプト展
12	1,985	394	166	457						611	87	1,634	1,478	6,812	175	17	縄文の旅
13	2,842	383	179	173						1,548	94	1,126	2,882	9,227	237	18	中国四川省古代文物展
14	1,555	309	205	205						721	92	1,913	1,035	6,035	137	19	黄金の輝き
15	1,884	449	274	89						737	142	1,423	1,375	6,373	168	20	扱と美の誕生
16	1,965	133	126							1,257	145	2,227	2,274	8,127	214	21	大トルコ展
17	1,052	116	285	14						615	81	1,745	1,156	5,064	110	22	縄文の女神展
18	942	167	206	234						828	109	1,805	863	5,154	89	23	山の民と海の民
19	993	191	115	42						802	83	1,546	812	4,613	90	24	甲府盆地から見たヤマト
20	12,958	2,908	498	355			4,133	3,441	18	506	2,507	2,035	729	51,241	985	25	世界遺産ナスカ展
21	647	428	164	592			978			126	90	1,628	905	6,549	119	26	埋められた財宝
22	605	420	39	351			861			116	68	748	1,128	5,068	99	27	卑弥呼時代の黄金世界
23	463	236	40	390			640			112	44	961	751	4,329	85	28	発掘された女性の系譜
24	810	338	92	1,124			1,042			111	899	1,069	1,154	6,773	135	29	縄文土器空室展
25	12,437	4,782	193	999			16,971	4,996		605	1,309	1,474	2,404	64,865	1,297	30	インカ帝国展
26	563	1,504	104	674			698			85	708	973	1,103	6,545	119	31	食いしんぼうの縄文人
27	672	1,172	23				363			90	586	886	1,225	5,017	114	32	掘り起こされた音の形
28	927	1,039	83				956			102	805	923	1,110	5,945	132	33	縄文の美
29	1,063	1,542					478			81	964	943	973	6,044	121	34	よみがえる武士の魂
30	929	1,182					699			76	1,032	949	1,177	6,067	132	35	ひつぎのヒミツ
31	2,505	2,864	35				2,275	378		185	4,948	673	945	14,808	400	36	古代アンデス文明展

学校関係利用状況

平成30年6月末日現在 (単位：校、人)

年度	県内										県外										合計	
	小学校		中学校		高校		計		小学校		中学校		高校		計							
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数				
8	67	4,353	12	515	2	40	81	4,908	62	4,384	12	1,062	2	122	76	5,568	157	10,476				
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698	148	9,823				
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384	133	9,550				
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136	130	8,545				
12	57	2,987	15	659	9	273	81	3,919	38	2,387	5	465			43	2,852	124	6,771				
13	58	3,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540			33	2,221	113	5,904				
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628			40	2,562	112	5,959				
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	1	81	40	2,394	119	5,859				
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720	101	5,239				
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739	106	5,832				
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595			47	3,413	111	6,558				
19	80	3,704	22	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474			49	3,623	157	8,370				
20	66	3,341	12	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898			58	4,233	137	8,152				
21	65	2,950	16	539	5	64	86	3,553	42	2,947	11	919	1	45	54	3,911	140	7,464				
22	58	3,075	12	568	6	155	76	3,798	48	3,270	12	1,073			60	4,343	136	8,141				
23	63	3,315	13	467	6	226	82	4,008	64	4,694	8	922			72	5,616	154	9,624				
24	60	2,985	12	532	6	182	78	3,699	58	4,029	12	1,008	1	72	71	5,109	149	8,808				
25	57	2,705	19	545	1	36	77	3,286	56	3,579	11	901			67	4,480	144	7,766				
26	65	2,989	17	747	4	194	86	3,930	53	3,654	9	840			62	4,494	148	8,424				
27	62	3,026	14	361	5	266	81	3,653	58	4,231	11	804	1	29	70	5,064	151	8,717				
28	63	2,841	16	767	2	96	81	3,704	48	3,089	12	815	1	5	61	3,909	142	7,613				
29	64	2,574	14	457	2	96	80	3,127	48	3,297	8	697			56	3,994	136	7,121				
30	28	1,067	9	328	2	87	39	1,482	28	2,106	3	101			31	2,207	70	3,689				
計	1,727	95,404	353	14,300	98	4,235	2,178	113,939	1,292	91,805	254	22,208	51	3,486	1,597	117,499	3,775	231,438				

(参考) H29年6月末現在

29	27	1,031	13	412	1	83	41	1,526	37	2,573	5	424			42	2,997	83	4,523
----	----	-------	----	-----	---	----	----	-------	----	-------	---	-----	--	--	----	-------	----	-------

考古博物館 総利用者数

平成30年6月末現在 (単位:人)

項目	27年度	28年度	29年度	30年度	増減		事業内容
					対H29 6月末比	H27~29 6月末比	
常設展 観覧者数	24,722	22,371	24,223	15,204	76.4%	83.5%	
特別展 観覧者数	5,945	6,044	6,067	14,808	—	—	H27:10.6~11.23 H28:9.28~11.23 H29:10.4~11.23 H30:5.19~7.16
企画展 観覧者数	13,076	13,047	15,464	2,209	△ 65.8%	△ 65.1%	春季・夏季・冬季企画展、わたしたちの研究室、富士山の日のミニ展示、山梨の遺跡展等
主催事業 参加者数	18,132	23,591	18,386	5,762	△ 22.4%	△ 15.1%	
講座等	760	572	1,061	235			史跡文化財セミナー、考古学講座、館長講座、縄文問答等
ものづくり教室	464	572	798	93			原始古代の技に学ぶ、チャレンジ博物館
体験学習	8,777	8,403	8,742	3,965			勾玉づくり、火起こし、その他(土鈴、編布、青銅鏡等)
イベント等	7,132	12,557	6,690	321			夏休み自由研究プロジェクト(アイメッセ)、夏休みスタンダンプラリー、縄文王国関連イベント、県民の日イベント、古代のもちつき、わたしたちの研究室委員会、考古博物館 春まつり等
風土記の丘こどもまつり	999	1,487	1,095	1,148			(GW期間中2日間開催)
研修センター利用者数	2,343	2,210	1,763	249	※ △ 8.2%	※ △ 10.8%	
風土記の丘望見展観覧者数	522	737	659				
施設利用	1,821	1,473	1,104	249			講堂 研修室 【別掲】電子スコート利用者数 H27:1,548、H28:2,967、H29:2,455、H30:737
総利用者数	64,218	67,263	65,903	38,232	※ 65.3%	※ 73.2%	

※別掲とした電子スコート利用者数を含む増減

No.	委員提言概要 (H29.11.22)	事務局回答 (H29.11.22) / 対応・検討状況
1	<p>・学校関係の入館者数が減少している。学校関係者の要望を踏まえた上で展示内容等を見直す必要があるのではないか。</p>	<p>・当館は縄文時代の出土品の豊富さと公園内の古墳とその出土品を「売り」にしている。展示スペースの関係もあるが、展示替えの時期や展示方法をさらに工夫していきたい。</p>
2	<p>・平成29年度特別展の入館者数が伸び悩んでいる。関心が低い理由として、県内の出土品が陶器1点のみであることが要因と考えられる。本県に由来する展示品を多く集めることが必要ではないか。</p>	<p>・平成29年度特別展では本県の出土品等を80点余り展示した。東京国立博物館が実施する「収蔵品貸与促進事業」を活用するなど、本県に由来する出土品の「埋蔵り」する機会の増加を図るとともに、「県民の関心」を喚起することに努めて参りたい。 ・なお、平成29年度特別展の入館者数は6,067人となり、平成28年度6,044人に比べ23人増加した。また、1日当たりの入館者数は132人となり、平成28年度の121人に比べ11人増加した。</p>
3	<p>・特別展の展示について、その時代におけるトレンド等を踏まえる必要がある。県民がどのような展示等を求めているのか、十分な調査を行うべきではないか。</p>	<p>・ツイッター・フェイスブックでは、縄文時代関連を掲載すると、多くのフォロワーがあり、来館者のアンケートでもやはり縄文は人気が高い。 ・平成31年度は縄文時代で計画しており、修理を終えた重要文化財の出土品を中心に県内外の優品を観覧できる機会としたい。</p>
4	<p>・周年記念事業で行う企画等を毎年実施することはできないのか。</p>	<p>・周年記念事業はこれまで「巡回展」という形で実施。企画経費(展示物の調達経費等)を他館と分担しており、同規模の展示を本館単独で実施することは予算的に困難である。また、考古博物館で実施する特別展は年1回であり、この1回を巡回展のみで実施した場合、本館の独自性を失ってしまう。このため、現状の5年に1回程度が適当であると考えている。</p>
5	<p>・考古博物館における「展示スペースの狭さ」を課題と考えている。増設等、具体的な話はあるのか。</p>	<p>・県の財政状況から大規模な改修・増設は現時点では難しい。展示方法等を見直すなど、展示スペースの確保に努めて参りたい。</p>
6	<p>・考古博物館の存在を認知してもらうため、正面のナウマン像を移設し、正面を県道側へ向けることを提案したい。</p>	<p>・ナウマン像は台座とセットとなり固定されているため、移設は不可能である。 ・また、当館の展示の中心はナウマン像ではなく縄文時代の出土品であるため、「土器」や「土偶」を描いたフラッグをピロティ等に設置し、認知を図ることとしたい。</p>
7	<p>・考古博物館の立地はリニア新駅に近い。入館者の更なる増加を図るため、何を目玉にするか、どのようなストーリーを作るか、検討すべきである。</p>	<p>・「星降る中部高地の縄文世界」として、山梨県の縄文時代の遺跡や出土品が長野県とともに日本遺産に認定されたことにより、今後は縄文を国内外に発信するさまざまな事業が計画されている。</p>
8	<p>・山梨の「縄文王国」の素請らしさを県内外に広く周知する取組や企画を実施する必要があるのではないか。</p>	<p>・平成30年度はフランスへ山梨・長野・群馬・新潟等の縄文土器を展示する機会を、平成31年度は韓国へ山梨の縄文土器を展示する機会を予定している。今後、日本遺産の取り組みにより、県内外に向けて積極的な情報発信に努めて参りたい。</p>
9	<p>・「縄文王国山梨」の浸透が県内外で不十分ではないか。</p>	<p>・山梨、長野、新潟等において縄文の遺跡が充実していることについて、特に若年世代に対しての浸透が不十分であるため、SNSや展示等を通じたPRに努めて参りたい。</p>
10	<p>・「縄文王国山梨の歌」を県内小中学生から公募して、縄文フェス等で歌うことを提案したい。</p>	<p>・縄文フェスは文化庁の補助金を受けて実施しているため、毎年実施できるかどうかは不透明。当該企画が実施可能か、検討して参りたい。</p>
11	<p>・「縄文王国山梨」について、山梨単体ではなく、「山梨」「長野」「新潟」の3県を一括りとしてPRする方が良いのでは。それぞれの県で盛れている部分をPRしながら、ストーリー性を待たせて展示等を行う必要があるのではないか。</p>	<p>・長野県には尖石などの骨董の古い遺跡等がある一方で、出土品は山梨が優れていると考える。日本遺産の事業など、長野県や新潟県などの周辺地域との連携を強化して参りたい。</p>

山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成二十八年十月二十三日～平成三十年十月二十二日)

区分	役職等	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	(株)富士レイクホテル取締役	井出薫子	社会教育関係
委嘱	山梨県旅館ホテル生活衛生同業組合顧問	笹本森雄	社会教育関係
委嘱	(株)タンザワ代表取締役会長	丹沢良治	社会教育関係
委嘱	NHK甲府放送局局長	辻村和人	社会教育関係
委嘱	甲府市男女共同参画 推進委員会委員	中村京子	社会教育関係
委嘱	山梨県市町村教育委員会 連合会副会長	堀内正基	社会教育関係 (北杜市教育委員会教育長)
委嘱	山梨県PTA協議会 親子安全会・扶助会代表	前田友也	家庭教育関係
委嘱	山梨郷土研究会常任理事	石川博	学識経験者 (駿台甲府高等学校教諭)
委嘱	山梨県考古学協会名誉会長	田代孝	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	長澤宏昌	学識経験者
委嘱	国立大学法人東京大学准教授	堀内秀樹	学識経験者
委嘱	在家庭	古屋美代	公募
委嘱	在家庭	渡邊富孝	公募
任命	山梨県公立小中学校校長会	小林千澄	学校教育関係 (笛吹市立境川小学校校長)
任命	山梨県高等学校長協会	谷戸高志	学校教育関係 (県立韮崎高等学校校長)

(平成三十年六月現在)

出身分野別五十音順

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

(略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担当事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2及び第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあつては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担当事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。